

『患者コミュニケーション支援アプリを活用した周術期管理方法に関する研究』
に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	手術予定の患者様が、不安や心配がなく手術を受け、退院後一日も早く日常生活に戻るためには医療スタッフとのコミュニケーションが重要です。現在は、パンフレットや電話などを通じて手術や入院に関する情報をお伝えしていますが、最近ではスマートフォンのアプリを使って、双方向のコミュニケーションができるようになり、海外ではすでに臨床使用されています。当院におきましても、患者様とのより良いコミュニケーションを図る方法として、このアプリを利用し利便性や満足度の向上について研究を実施させていただきます。
研究の方法	手術予定日が決まりましたら、患者さんのスマートフォンに専用のアプリケーションをダウンロードして頂きます。ダウンロード後、アプリを通じて手術や入院等に関する様々な情報を提供しますので、アプリの指示に従って視聴や回答をお願いします。退院後、利用したアプリに関する満足度についてアンケート調査を行い評価します。
対象者	西暦2024年3月1日～2024年9月30日の間に、抜歯手術で当院に通院や入院をされた方
利用する試料/情報	試料：なし 情報等：手術名、年齢、性別、生年月、電話番号、メールアドレス、問診結果、アンケート結果
利用する試料/情報の取得方法	スマートフォンアプリを通じて情報を取得
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【研究代表機関】 済生会横浜市東部病院 谷口 英喜(研究代表者) 【既存試料・情報のみの提供を行う機関】 日本メドトロニック株式会社カスタマーソリューション (塚原 将彦)
試料/情報の院外提供	提供先機関・提供先責任者：済生会横浜市東部病院 谷口 英喜 提供方法：電子的配信
結果公表	医療の質・安全学会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年9月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 患者支援センター/センター長 谷口 英喜
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 患者支援センター/門脇 水菜子